

氏名	木戸聡史	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	呼吸理学療法、リハビリテーション工学				
学位	博士（工学）修士（理学療法）				
学歴	2003年 札幌医科大学保健医療学部理学療法学科，2005年札幌医科大学大学院保健医療学研究科理学療法専攻博士課程前期，2018年千葉大学工学研究科博士課程修了				
経歴	2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教，2016年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科講師，2018年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科准教授・保健医療福祉学部理学療法学科准教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士学会，日本呼吸理学療法学会，日本支援工学理学療法学会，日本呼吸ケアリハビリテーション学会，専門リハビリテーション研究会，埼玉県理学療法士会（学術編集部長），埼玉県立大学保健医療福祉科学学会，呼吸機能イメージング研究会				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Achievement of adequate nutrition contributes to maintaining the skeletal muscle area in patients with sepsis undergoing early mobilization: a retrospective observational study	共著	○	○	BMC nutrition 10(1) 32-32	Ryo Abe, Takashi Shimazui, Masayuki Sugo, Akihiro Ogawa, Michito Namekawa, Nobuya Kitamura, <u>Satoshi Kido</u>	2024.2
2	Determination of Peak Oxygen Uptake in Patients with Acute Myocardial Infarction: The Role of Arterial Stiffness in Cardio--Vascular--Skeletal Muscle Coupling	共著	○	○	Journal of Clinical Medicine 13(1)	Akihiro Ogawa, Shinya Kanzaki, Yuki Ikeda, Masahiro Iwakawa, Takahiro Nakagami, Shuji Sato, Hiroshi Mikamo, <u>Satoshi Kido</u> , Arata Nakajima, Kazuhiro Shimizu	2023.12
3	Study of the Responsiveness and Minimal Clinically Important Difference of the Trunk Impairment Scale in Patients With Acute Stroke	共著	○	○	Advances in Rehabilitation Science and Practice 12 1-8	Ishiwatari M, Takahara T, Hayakawa, M. Ogawa, A. <u>Kido S</u>	2023.11
4	リハビリテーション介入がなされた敗血症患者におけるICU-AW残存に対する寄与因子	共著			全国自治体病院協議会雑誌 62(6) 955-959	阿部 遼, 菅生 真行, 小川 明宏, 北村 伸哉, <u>木戸 聡史</u>	2023.6
5	車椅子使用者のトイレ室内転倒検出における熱画像センサ設置位置の選定ための模擬試験	共著	○		支援工学理学療法学会誌 3(1) 5-12	白銀暁, <u>木戸聡史</u> ,村田健児,宮坂智哉,佐賀匡史,濱口豊大,田中敏明	2023.9
6	日常的に利用可能な呼吸量測定機器の実現に向けた技術的検討	共著			Japan Energy & Technology Intelligence 71(8) 33-36	松本陽斗, 笠井文雄, 宮坂智哉, <u>木戸聡史</u> , 村田政隆, 鴨志田麻実子	2023.8
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	間質性肺疾患（ILD）の評価と介入	共同		第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会シンポジウム1	○善田督史、柚口菜津子、赤間美波、 <u>木戸聡史</u>	2023.10	

2	Are excessive large or small knee rotations during gait associated with osteoarthritis symptoms?	共同	16th Asian congress of physical therapy	○ Ogaya S, Shimamura M, Horiuchi K, <u>Kido S</u>	2023.11
3	4年にわたる長期在宅生活が可能であった特発性肺線維症患者の一例	共同	第29回千葉県理学療法士学会	○善田督史、柚口菜津子、赤間美波、 <u>木戸聡史</u>	2024.3
4	高齢開心術後患者における術後肺合併症の誘発因子の検討	共同	第51回日本集中治療学会学術集会	○阿部遼、菅生真行、小川明宏、 <u>木戸聡史</u>	2024.3
5	膝蓋大腿関節における早期軟骨変性者の形態特徴	共同	運動器理学療法学3(Suppl.) O-148	○小栢進也、喜多俊介、島村雅彦、 <u>木戸聡史</u>	2023.6
6	有限要素法を用いた胸鎖乳突筋作用による胸郭変位モデル解析	共同	第50回日本臨床バイオメカニクス学会、姫路	○赤間美波、柚口菜津子、善田督史、今北英高、小栢進也、沼尻一哉、 <u>木戸聡史</u>	2023.11

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C	リハビリテーション評価および治療に使用するための呼吸器シミュレーションモデリング	研究代表者	2021.4～2024.3
2	2023年度埼玉県立大学奨励研究費 A研究 A12	呼吸筋及び活動筋の酸素化動態連関の解明	研究代表者	2023.4～2024.3
3	令和5年度埼玉県理学療法士会研究推進補助金	回復期リハビリテーション病棟入院患者における骨格筋量と呼吸筋力の関係を解明する	研究分担者	2023.4-2024.1

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	内部障害理学療法学	○	4	内部障害系領域の理学療法について講義を行った
2	呼吸理学療法学	○	8	呼吸機能生理・呼吸運動生理に基づいた学修と計測機器を用いた呼吸の解析を実施した
3	身体機能運動学		1	運動負荷試験について講義を行った
4	理学療法応用技術学H（内部新領域）	○	8	内部障害の新たな領域について講義を行った
5	大学院博士前期 内部機能障害治療学特論	○	15	内部機能障害の病態理解および治療に関連した知識/技術を習得するために、講義・論文抄読・ディスカッションなどを行った
6	大学院後期課程 IPWシステム開発論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義を行った
7	大学院前期課程 IPW論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義を行った
8	大学院前期および後期課程 リハビリテーション教育学II		2	卒後教育の実践と現状について講義を行った

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法特別演習		1	理学療法士国家試験に準拠した内容を、単元分野ごとに整理するため、心肺系の解剖・生理・運動学・病態・理学療法についてポイントを絞って講義した
2	基礎運動療法学演習	○	3	運動療法の基盤となる運動生理学について講義と演習指導を行った

3	理学療法研究法演習		1	自身の研究領域に関する講義を行った
4	大学院博士前期 リハビリテーション学演習（内部機能障害治療学）	○	30	内部機能障害の病態理解および治療に関連した知識/技術を習得するために、講義・論文抄読・ディスカッションなどを行った
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	内部障害理学療法実習	○	後期 12	内部障害系領域の症例に対する理学療法の評価・治療について実技指導を行った
2	運動学実習		前期 20	グループに分かれての実習について動作分析および体力良好と運動処方を担当した
3	理学療法セミナー（OSCE1）		前期 3	臨床教育実習Ⅱに向けて理学療法実践の場における対人関係や対患者関係能力を身につけるため、学生の個別指導を行った
4	理学療法セミナー（OSCE2）		後期 3	臨床教育実習Ⅲ,Ⅳに向けて理学療法実践の場における対人関係や対患者関係能力及び理学療法の基本的評価・治療技術を身につけるため、学生の個別指導を行った
5	臨床教育実習Ⅰ		2024.2	検査測定を中心とした実習後指導を行った
6	臨床教育実習Ⅱ		2023.9-2023.10	理学療法評価習得を中心とした実習中、実習後の指導を行った
7	臨床教育実習Ⅲ		2023.4-2023.6	総合実習においての実習中、実習後の指導を行った
8	臨床教育実習Ⅳ		2023.6-2023.7	地域・特定領域においての実習中、実習後の指導を行った
9	ヒューマンケア体験実習		後期 15	ヒューマンケア体験実習において学生チームのファシリテーションなどを行った
10	応用運動療法学実習		前期 8	内部障害系領域の症例に対する運動療法について指導を行った
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2023.4～2024.3	主指導 6名 副指導 名
2	修士論文		2023.4～2024.3	主指導（指導教員） 2名 副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文		2023.4～2024.3	主指導（指導教員） 名 副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	学部ゼミ		2023.4～2024.3	学部ゼミ生の研究指導として週1回程度開催した
2	大学院ゼミ		2023.4～2024.3	大学院生の研究指導として月2回程度開催した
3	専門職対象症例検討会		2023.4～2024.3	卒業生・大学院生理学療法士を対象とした症例検討会を2ヶ月に1回行った
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	埼玉県立大学公開講座「脚の健康チェック」		埼玉県立大学	高齢者85名を対象とした体力測定会（8月29-8月31日）
2	第11回茨城呼吸療法セミナー		一般社団法人茨城県臨床工学技士会	講演：呼吸筋の基礎と評価
3	茨城県立医療大学博士論文学外審査員		茨城県立医療大学	博士論文の学外審査員を務めた
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	理学療法学科1年次生担任		2023.4～2024.3
2	学科等における委員会等	実習施設対象公開講座運営		2023.4～2024.3
3	学科等における委員会等	学部入試実施部会員		2023.4～2024.3
4	学科等における委員会等	ヒューマンケア体験実習科目責任者会		2023.4～2024.3
5	学科等における委員会等	実習室備品管理担当		2023.4～2024.3
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			